

令和6年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 秀峰会	代表者	櫻井大	法人・事業所の特徴	同法人は、「横浜の大地に住まう人々の、生活障害の軽減を支援する願い」を持って事業活動を進め、市内全域で介護分野の全ての形態の事業を展開し、100ヶ所を超える事業所を運営しています。「われもこう」はご利用者にとって、いつでも通えて泊まれる『近所にあるもう一つの家』と提供している施設でありたいとまた、介護職員、看護職員が連携してご利用者様を見守る目と支える手として機能したいと考えています。
事業所名 (保土ヶ谷区)	小規模多機能型居宅介護 われもこう	管理者	立石 しおり		

出席者数	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
		1人	1人	1人	1人	1人		2人		7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	ご利用者様の希望を叶えるために聞き取りを大切にします。また雑談の中にも要望は隠れているので聞き流さない。	雑談の中で、ご利用者の変化などに気付くことが出来た。また、要望を実現するためのきっかけとなった <達成>	色々やっつけているので助かります。スタッフが色々やっつけていて、ご利用者も明るく楽しまれている	ご利用者様の希望を叶えるための聞き取りを大切にします。また雑談の中にも要望は隠れているので聞き流さない。ご利用者だけではなく、自分自身の事も大切にします。
B. 事業所のしつらえ・環境	感染症蔓延ゼロ目標に定期的な研修や環境整備を実施する。また、ご利用者様だけではなくご家族もわれもこうで過ごしやすい環境を作る。	感染症への理解の研修及びBCP研修を実施、臭い等を含む環境整備なども進めている <達成>	とても居心地が良い施設だと思う。他の施設みたいに「ちょっと臭い」などは全くない。事業所が楽しい場所のひとつとなっている様に感じます。	感染症のBCP研修を実施し、感染症ゼロを目指す。
C. 事業所と地域のかかわり	感染症の心配が無い時には、ご利用者家族も参加できる行事を創造する。地域開催の活動にはご利用者様と積極的に参加し、近隣の園児との交流も継続	地域活動、行事への参加、保育園児との交流 <達成> 事業所主催の行事はご家族に声をかけたが来所までには至らず <未達>	いつも気持ちの良い笑顔で声を掛けやすい 地域行事やイベントにも参加してくれて、職員さんは神輿も担いでくれた 地域でもわれもこうのことを知っている人が多いと思います	地域行事への継続的な参加。園児との交流も継続する。大きな行事には家族の来所を促していく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	ご利用者様の要望を叶える、外出レクや外食レクを積極的に支援し実現させる	外出レク(食事や買い物)を積極的に支援、地域行事や散歩などの外出なども実施 <達成>	地域の方がわれもこうのことをよく理解され、地域に密着していると感じた。行事などには必ず参加してくれている。外出レクなどは紹介した所に行っている	外出・外食レクを継続し、ご利用者の希望に沿った内容を提供する
E. 運営推進会議を活かした取組み	対面実施は勿論のこと、積極的な意見交流が図れる場とする	運営推進会議は対面開催実施(一度だけ体調不良者多数のため中止にした) <達成>	会議内で話しが出た老人会の認知症研修の講師などを快く引き受けてくれる	地域での行事を含む取組み(老人会などに積極的に参加し、地域の一員として高齢者へ積極的にアプローチをする
F. 事業所の防災・災害対策	避難訓練は計画的に実施し、4月からのBCPに対し職員全員で取り組む	年2回の防災訓練とBCPの避難訓練(消防立ち合い)実施 <達成>	実際に災害などが起きた時に不安になります。近くにオープンな施設があると安心して居る。本当に頼りにしている。	地域の避難訓練に参加。防災計画・BCPに沿った事業所の研修を行う。